

簡易リスト

待ち受け画面で(☰)を押すと、録音内容の再生や、自局の UC、個別 ID、グループ ID、無線機の周波数などの情報を確認することができます。

項目	設定値 / 表示項目	機能
リピート再生	—	自動で録音されている相手局の音声を再生します。
録音メモ	—	録音された音声を再生します。
自局情報	UC / 個別 ID / グループ ID	自局の UC、個別 ID やグループ ID を表示します。
無線機情報	周波数	現在の周波数を表示します。

リピート再生

通信を行っている際に、相手の音声を自動で録音しています。通話内容を聞き逃した時などに、内容を確認することができます。

補足

- 録音可能な時間は合計約 60 秒（録音状況により異なります）で、録音中にこの時間が経過すると、録音は中止されます。
- 新たに開始される録音は、既に録音された内容に上書きされていきます。
- 電源を切ると、録音された内容は消去されます。

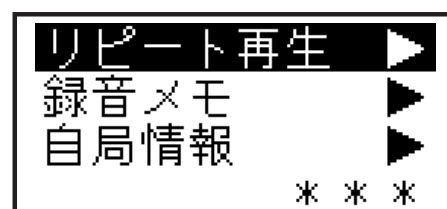
- ① 待ち受け画面で(☰)を押す。
- ② “リピート再生” が選択されていることを確認し、(⏪)を押す。
- ③ 録音件数が複数ある場合は、(◀)または(▶)で、再生したい件数を選択する。
- ④ (⏪)を押す。

録音された内容を再生します。

補足

- 再生中に(⏪)を押すと、再生を中止します。
- 何も録音されていない場合は“録音無し”が表示されます。

- ⑤ 再生していない状態で(⏩)を押す。
リピート再生を行う前の画面に戻ります。



相手局の情報を表示



押すごとに古い件数を表示

録音件数を表示
1件前とは、「1件目のリピートあり」を表す

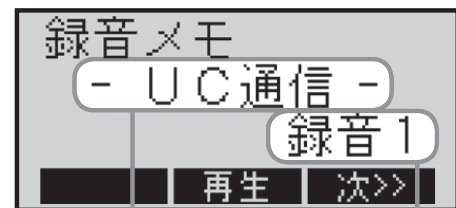
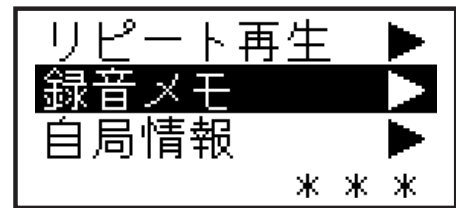
録音メモ

通信を行っている際に、録音ボタンを押して録音した相手の音声を再生することができます。

- ① 待ち受け画面で(☎)を押す。
- ② ロータリースイッチをまわす。
“録音メモ”を選択します。
- ③ (⏪)を押す。
- ④ (⏩)を押す。
- ⑤ 録音件数が複数ある場合は、(⏪)または(⏩)で、再生したい録音番号を選択する。
- ⑥ (⏪)を押す。
録音された内容を再生する。

補足

 - 再生中に(⏪)を押すと、再生を中止します。
 - 何も録音されていない場合は“録音無し”が表示されます。
- ⑦ 再生していない状態で(⏪)を押す。
録音メモ再生を行う前の画面に戻ります。



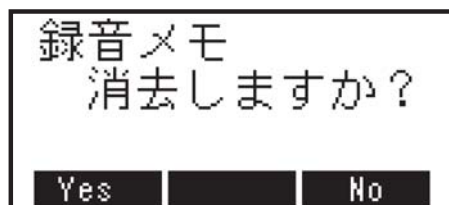
相手局の情報を表示

録音件数を表示

録音された内容を消去したい場合

操作③の後、以下の操作を行ってください。

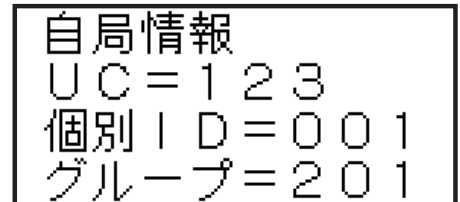
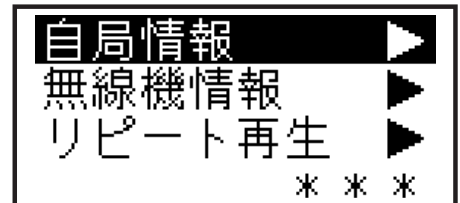
1. (▶) (消去) を押す。
2. (Yes) を押すと消去される。



自局情報

無線機に設定してある UC(ユーザーコード)、個別 ID、グループコードを表示させることができます。

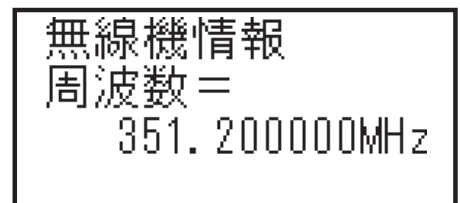
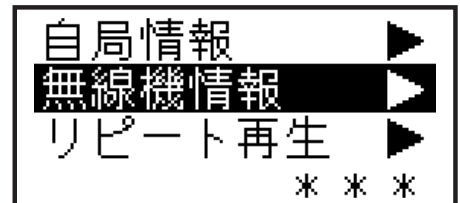
- ① 待ち受け画面で **(F)** を押す。
- ② ロータリースイッチをまわす。
“自局情報” を選択します。
- ③ **(R)** を押す
設定されている内容が表示されます。
- ④ **(S)** を押す。
情報を表示させる前の画面に戻ります。



無線機情報

現在選択しているチャンネルの周波数を表示させることができます。

- ① 待ち受け画面で **(F)** を押す。
- ② ロータリースイッチをまわす。
“無線機情報” を選択します。
- ③ **(R)** を押す。
チャンネル番号に相当する周波数を確認できます。
- ④ **(S)** を押す。
情報を表示させる前の画面に戻ります。



送受信メニュー ～個別通信時で使用する機能です～

待ち受け画面で“機能”ボタンを約2秒以上押すと、相手と交信可能かどうかの確認、発着信履歴、メッセージの確認などの操作をおこなうことができます。

項目	機能
アンサーバック	待ち受け画面に表示されている相手局と、交信できる状態かを確認することができます。
着信履歴	着信した信号の発信元を、新しい順に表示します(最大10件)。
発信履歴	発信した信号の発信先を、新しい順に表示します(最大10件)。
メッセージ送信	あらかじめ登録されたメッセージ(最大10件)を送信することができます。
メッセージ確認	受信したメッセージを、新しい順に表示します(最大10件)。

アンサーバック

待ち受け画面に表示されている相手局と、交信できる状態かを確認することができます。

- ① 待ち受け画面で(☎)を2秒以上押す。
- ② “アンサーバック”が選択されていることを確認し、(⏪)を押す。
- ③ 送信状態になる。

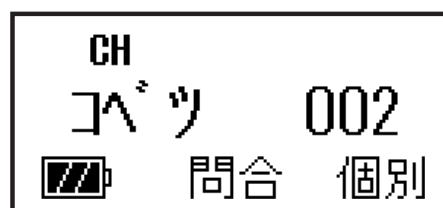
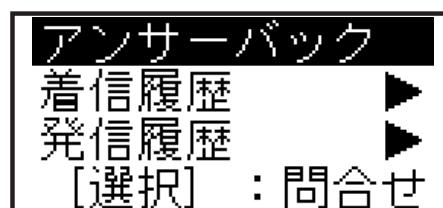
相手局に対して「問い合わせ」の信号を送出して、その後結果を表示します。

“応有”：相手局と交信可能な状態です。

“応無”：「相手局の電源が入っていない」、「距離が離れすぎている」などの原因で、相手局と交信できない状態です。

- ④ (⏩)を押す。

結果を表示させる前の画面に戻ります。



問い合わせの結果

着信履歴

これまでに着信した信号の発信元を、新しい順に最大 10 件まで表示することができ、PTT ボタン（送信ボタン）を押すと、表示されている ID の相手呼び出すことができます。

① 待ち受け画面で(☎)を2秒以上押す。

② ロータリースイッチをまわす。

“着信履歴”を選択します。

③ (⏪)を押す。

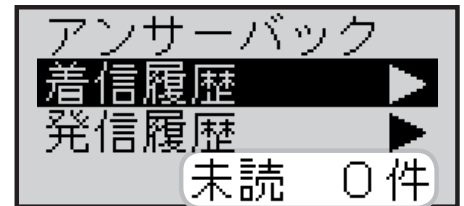
着信履歴が表示されます。

補足

- ロータリースイッチをまわすと、着信履歴を切り換えることができます。
- (▶)を押した後に(◀)を押すと、選択されている履歴を消去することができます(▶でキャンセル)。
- PTT ボタンを押すと、選択されている ID の相手呼び出すことができます。

④ (⏩)を押す。

着信履歴を表示させる前の画面に戻ります。



未読件数

発信履歴

これまでに発信した信号の発信先を、新しい順に最大 10 件まで表示することができ、PTT ボタン（送信ボタン）を押すと、表示されている ID の相手呼び出すことができます。

① 待ち受け画面で(☎)を2秒以上押す。

② ロータリースイッチをまわす。

“発信履歴”を選択します

③ (⏪)を押す。

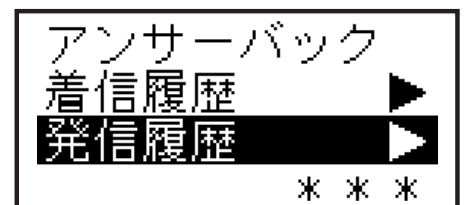
発信履歴が表示されます。

補足

- ロータリースイッチをまわすと、発信履歴を切り換えることができます。
- (▶)を押した後に(◀)を押すと、選択されている履歴を消去することができます(▶でキャンセル)。
- PTT ボタンを押すと、選択されている ID の相手呼び出すことができます。

④ (⏩)を押す。

発信履歴を表示させる前の画面に戻ります。



メッセージ送信

あらかじめ登録されたメッセージ(最大 10 件)を送信することができます。

※メッセージの設定は、販売店にご相談ください。

① 待ち受け画面で(☎)を2秒以上押す。

② ロータリースイッチをまわす。

“メッセージ送信”を選択します。

③ (⏪)を押す。

④ ロータリースイッチをまわす。

送信したいメッセージを選択します。

⑤ (⏪)を押す。

⑥ 再度(⏪)を押す。

選択したメッセージを送信し、ディスプレイ上面に“☎”マークが点滅します。

補足

個別宛先で送信した場合に限り、相手局に正しくメッセージが届いたかどうかの結果を表示する。

“応有”：正しくメッセージが届いた場合。

“応無”：正しくメッセージが送られなかった場合。

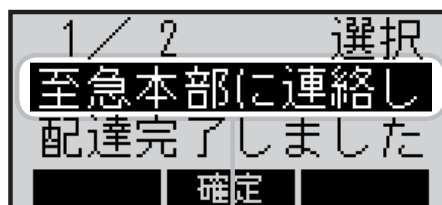
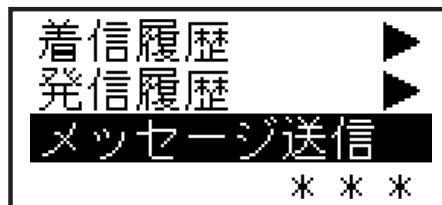
⑦ (⏪)を押す。

メッセージを送る前の画面に戻ります。

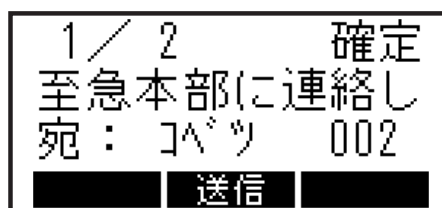
補足

メッセージを受信すると、ディスプレイ上面に“☎”マークが点滅し、同時にメッセージを表示(スクロール)します。

メッセージを確認後(⏪)を押すと、メッセージを受信する前の状態に戻ります。



メッセージを選択



メッセージ確認

これまでに受信したメッセージを、新しい順に最大 10 件まで表示することができます。

① 待ち受け画面で(☎)を2秒以上押す。

② ロータリースイッチをまわす。

“メッセージ確認”を選択します。

③ (⏪)を押す。

メッセージの着信履歴が表示されます。

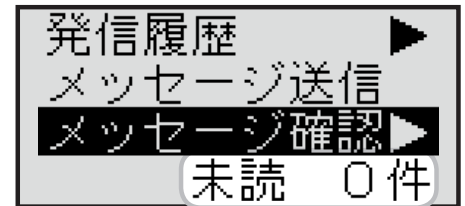
補足

○ ロータリースイッチをまわすと、着信履歴を切り換えることができます。

○ (▶)を押した後に(◀)を押すと、選択されている履歴を消去することができます(▶でキャンセル)。

④ (⏩)を押す。

着信履歴を表示させる前の画面に戻ります。



未読件数

拡張機能 ～コールモード～

自局 ID、UC(ユーザーコード)、秘話 ID など、通信時に使用する情報や機能の設定を行うことができます。

項目	初期値	設定値	機能
C01 通信方式	UC 通信	個別通信 /UC 通信	通信方式の選択
C02 UC	000	000 ～ 511	UC(ユーザーコード)の設定
C03 UC ベル	0 回	0 ～ 3 回	同一 UC 呼び出し電子音の回数設定
C04 自局 ID	001	001 ～ 200	自局 ID の設定
C05 グループ ID	201	201 ～ 230	グループ ID の設定
C06 個別ベル	1 回	0/1/2/3/4/5 回	個別呼び出し時の電子音の回数設定
C07 グループベル	0 回	0/1/2/3 回	グループ / 一斉呼び出し時の電子音の回数設定
C08 個別宛先	可変	可変 / 固定	個別通信時の呼び出し先表示の設定
C09 固定宛先	000	000 ～ 230	個別通信の待ち受け画面に表示させる相手局の ID 設定
C10 緊急個別 ID	***	000 ～ 255	緊急を知らせたい相手局の ID 設定
C11 通話保持時間	5 秒	5/10/15/30/60 秒	個別通信時の通話保持時間の設定
C12 秘話 ID	OFF	OFF/\$01 ～ \$20	プリセット秘話コード(秘話 ID)の選択。 あらかじめ \$01 ～ \$20 に、最大 20 種類の秘話コードをプリセット可能。

拡張機能(コールモード)の基本的な操作方法を右ページに記します。

各項目の具体的な操作方法は、44 ページ以降を参照してください。

補足

拡張機能(セットモード)の詳細は、52 ページ以降を参照してください。

注意

拡張機能にはセットモード/コールモード以外にサービスモードがあります。このサービスモードは、サービスマン専用のモードです。故意に設定すると無線機が使用できなくなることがあります。

- ① 一度電源を切り、を押しながら、電源を入れる。

拡張機能の選択画面が表示されます。






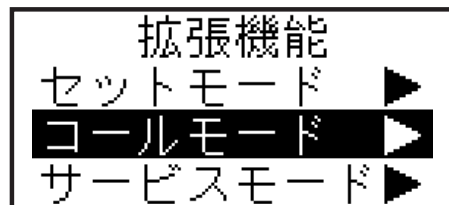
- ② ロータリースイッチをまわす。

“コールモード”を選択します。

- ③ を押す。



- パスワードの入力画面が表示された場合、コールモードの設定操作が禁止されていますので、お買い上げいただきました販売店にご相談ください。
- パスワードがわかっている場合は、下記の方法でパスワードを入力してください。
 1. ロータリースイッチで数字を選択します。
 2.  / で桁を移動させ、ロータリースイッチで数字を選択します。
 3. 入力が終わったらで決定します。
 4. 正しいパスワードが入力されると、コールモードの画面が表示されます。



- ④ ロータリースイッチをまわす。

設定したい項目を選択します。

- ⑤ を押す。

- ⑥ ロータリースイッチをまわす。

設定値を変更します。

- ⑦ を押す。

その後電源を切ると設定は終了です。



C01 通信方式

UC 通信と個別通信を切り換えることができます。

① 43 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにする。

② ロータリースイッチをまわす。

“通信方式” の表示にあわせませす。

③  を押す。

④ ロータリースイッチをまわす。

希望の通信方式を選択します。

“UC 通信”：UC 通信方式で運用するとき。

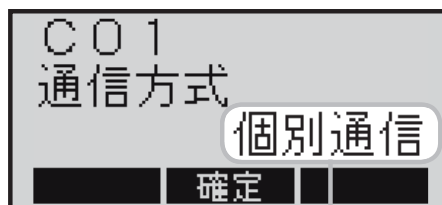
“個別通信”：個別通信方式で運用するとき。

⑤  を押す。

その後電源を切ると設定は終了です。



現在の通信方式



通信方式

C02 UC

UC (ユーザーコード) を変更することができます。


① 43 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにする。

② ロータリースイッチをまわす。

“UC” の表示にあわせませす。

補足

○ ユーザーコードの代わりに“CH”が表示される場合は、すでにチャンネルごとにユーザーコードが設定されており、変更することができません。

○ 現在の値が表示されていても、次の③の操作にてを押しても値が変更できない場合は、販売店によりユーザーコードの変更が禁止された状態になっています。

これらの状態でユーザーコードの変更が必要な場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

③  を押す。

ユーザーコードの百の桁で、カーソルが点滅します。

④ ロータリースイッチをまわす。

希望の数字を選択します。

設定できるユーザーコードは“000”～“511”です



現在のユーザーコード

(512以上の数字にあわせることはできますが、設定することはできません)。

補足

ユーザーコードの“000”は、特別なユーザーコードとして扱われ、受信時は、ユーザーコードが異なる信号も受信できますが、送信時は“000”を設定している相手としか、通信することができません。



ユーザーコード

- ⑤ **▶を押す。**
カーソルが右の桁に移動します。
◀を押すと、カーソルが左の桁に移動します。
- ⑥ **④と⑤の操作を繰り返して、3桁のユーザーコードを設定します。**
- ⑦ **⏏を押す。**
その後電源を切ると変更は終了です。

C03 UC ベル ～ UC 通信で使用する機能です～

UC 通信で運用中、同一 UC の他局から呼び出しを受けた時に鳴る電子音の回数を、変更することができます。

- ① **43 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにする。**
- ② **ロータリースイッチをまわす。**
“UC ベル” の表示にあわせませす。
- ③ **⏏を押す。**
- ④ **ロータリースイッチをまわす。**
希望の回数を選択します。
設定できる回数は“0回”～“3回”です。
- ⑤ **⏏を押す。**
その後電源を切ると設定は終了です。

補足

- UC ベル回数“1回”～“3回”を設定すると、同一 UC で着信した場合、呼び出し音が鳴ると同時に画面に“-Called-”が応答送信するまで、または他のボタン操作するまで表示を継続します。
- UC ベルは、5 秒以内の繰り返し呼び出しの場合、呼び出し音はなりません。




現在の電子音が鳴る回数



電子音が鳴る回数

C04 自局 ID ～個別通信で使用する設定です～

無線機に設定されている自局の ID を変更することができます。

- ① 43 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにする。
- ② ロータリースイッチをまわす。
“自局 ID” の表示にあわせませす。
- ③ を押す。
- ④ ロータリースイッチをまわす。

補足

- あらかじめ登録してある ID しか、選択することはできません。
- 登録されている ID 以外をご希望の場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

- ⑤ を押す。
その後電源を切ると変更は終了です。



現在の自局 ID



自局 ID

C05 グループ ID ～個別通信で使用する設定です～

無線機に設定されているグループ ID を変更することができます。

① 43 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにする。

② ロータリースイッチをまわす。

“グループ ID” の表示にあわせませす。

補足

現在のグループ ID に“ALL”が表示されている場合は、販売店により複数のグループ ID が登録されています。変更が必要な場合はお買い上げの販売店にご相談ください。



現在のグループ ID

③ **⏏**を押す。

④ ロータリースイッチをまわす。

希望の ID を選択します。

補足

- あらかじめ登録してある ID しか、選択することはできません。
- 登録されている ID 以外をご希望の場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。



グループ ID

⑤ **⏏**を押す。

その後電源を切ると変更は終了です。

C06 個別ベル

個別呼び出しを受けた時に鳴る電子音の回数を、変更することができます。

① 43 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにする。

② ロータリースイッチをまわす。

“個別ベル” の表示にあわせませす。

補足

現在の電子音が鳴る回数が表示されます。

③ **⏏**を押す。

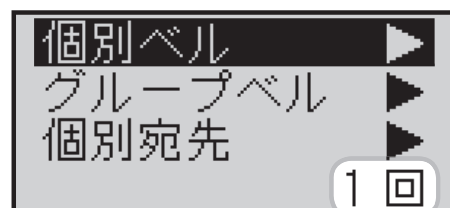
④ ロータリースイッチをまわす。

希望の回数を選択します。

設定できる回数は“0”～“5”です。

⑤ **⏏**を押す。

その後電源を切ると設定は終了です。



現在の電子音が鳴る回数



電子音が鳴る回数

C07 グループベル

グループ / 一斉呼び出しを受けた時に鳴る電子音の回数を、変更することができます。

① 43 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにする。

② ロータリースイッチをまわす。

“グループベル” の表示にあわせませす。

③  を押す。

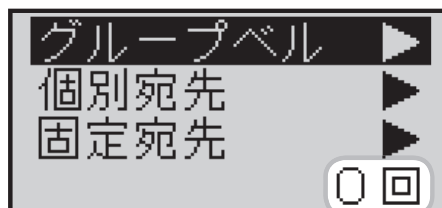
④ ロータリースイッチをまわす。

希望の回数を選択します。

設定できる回数は“0”～“3”です。

⑤  を押す。

その後電源を切ると設定は終了です。



現在の電子音が鳴る回数



電子音が鳴る回数

C08 個別宛先 ～個別通信で使用する設定です～

応答待ち時間（通話タイマー）が経過して、待機状態に戻る際の、呼び出し先表示の条件を設定することができます。

① 43 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにする。

② ロータリースイッチをまわす。

“個別宛先” の表示にあわせませす。

③  を押す。

④ ロータリースイッチをまわす。

希望の表示方法を選択します。

“可変”：直前の通話で設定した呼び出し先のIDを表示します。

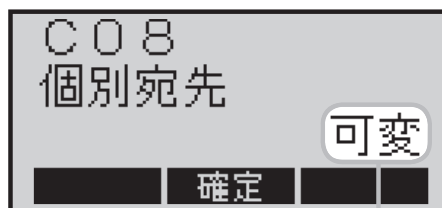
“固定”：あらかじめ設定している（C09 固定宛先で設定）呼び出し先のID表示に変わります。

⑤  を押す。

その後電源を切ると設定は終了です。



現在の設定



設定

C09 固定宛先 ～個別通信で使用する設定です～

個別通信の待ち受け画面に表示させる、相手局のIDを設定します。

① 43 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにする。

② ロータリースイッチをまわす。

“固定宛先”の表示にあわせます。

③ を押す。

④ ロータリースイッチをまわす。

希望の数字を選択します。

設定できるIDは“000”～“230”です。


補足

○ あらかじめ登録してあるIDしか、選択することはできません。

○ 登録されているID以外をご希望の場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

⑤ を押す。

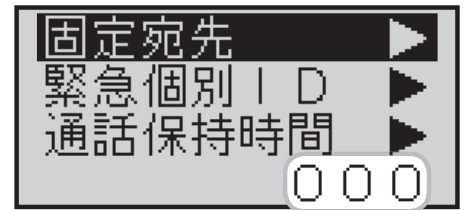
カーソルが右の桁に移動します。

を押すと、カーソルが左の桁に移動します。

⑥ ④と⑤の操作を繰り返して、3桁のIDを設定する。

⑦ を押す。

その後電源を切ると設定は終了です。



現在の固定宛先 ID



固定宛先 ID

C10 緊急個別 ID ～個別通信で使用する設定です～

出荷時の設定は、同一ユーザーの全員に緊急を知らせる“緊急一斉”に設定されていますので、本設定を行うことはできません。

緊急を知らせたい相手局のIDを変更できる“緊急個別”方式への変更は、お買い上げの販売店にご相談ください。

◎ 緊急一斉

同じユーザーの全ての局に対し、一斉に緊急を知らせることができます。

◎ 緊急個別

特定の相手局にだけ、緊急を知らせることができます。

C11 通話保持時間

応答待ち時間（通話タイマー）の時間を設定することができます。

① 43 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにする。

② ロータリースイッチをまわす。

“通話保持時間” の表示にあわせませす。

③  を押す。

④ ロータリースイッチをまわす。

希望する応答待ち時間を選択します。

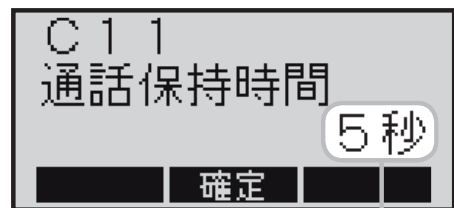
設定できる時間は“5秒”、“10秒”、“15秒”、“30秒”、“60秒”です。

⑤  を押す。

その後電源を切ると設定は終了です。



現在の設定時間



設定時間

C12 秘話 ID

秘話通信機能の動作を、ON/OFF することができます。

秘話通信機能を使用するには、あらかじめ秘話コードを設定しておく必要があります。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

① 43 ページの①～③の操作をおこない、コールモードにする。

② ロータリースイッチをまわす。

“秘話 ID” の表示にあわせませす。

補足

“ALL OFF” が表示される場合は、秘話機能の使用が禁止されていますので、設定を行うことはできません。



現在の設定

③  を押す。

④ ロータリースイッチをまわす。

秘話通信機能の OFF または秘話コードを選択します。

“\$01 ~ \$20” : 設定した秘話コードで秘話機能が動作します。

“OFF” : 秘話通信機能がオフになります。




設定

⑤  を押す。

その後電源を切ると設定は終了です。

補足

- 秘話通信機能が動作しているときは、ディスプレイに “” が点灯します。
- 交信したい相手の無線機にも、同じ秘話コードが設定されていないと、交信することはできません。
- お互いの秘話コードが異なる場合は、相手の音声を電氣的に秘話処理した電子音が聞こえるだけで、通話内容を正しく聞き取ることができません。
- 秘話信号を受信すると、LED インジケータが青色で点滅します。
- 秘話通信機能が動作しているときに送信すると、LED インジケータが青色で点灯します。

拡張機能 ～セットモード～

本機に内蔵された、各機能の設定を行うことができます。

項目	初期値	設定値	機能
F01 ビープレベル	レベル 08	レベル 00 ～ 15	操作音（ビープ音）の音量設定
F02 外部マイク	0 dB	+10/+6/+3/0 -3/-6/-12/-18 dB	外部マイクの感度設定
F03 内部マイク	0 dB	+10/+6/+3/0 -3/-6/-12/-18 dB	内部マイクの感度設定
F04 ローター	チャンネル	チャンネル /ID	ロータリースイッチの動作設定
F05 キーロック	前面	PTT / 前面 / 上部 / 全て / 前面+上部	キーロックの動作設定
F06 緊急モード	BP	BP/T/S/BP+T/OFF	緊急モードの動作設定
F07 TX ビープ	OFF	ON/OFF	送信開始時の電子音設定
F08 RX ビープ	OFF	ON/OFF	相手局の送信終了音の設定
F09 ノイズキャンセル	ON	ON/OFF	ノイズキャンセル機能の設定
F10 送信出力制限	High 有効	High 有効 / Low 固定 受信専用	送信出力の設定
F11 弱電界アラーム	OFF	ON/OFF	受信信号が極端に弱い場合に鳴るアラームの設定
F12 不在着信ベル	OFF	OFF/5秒毎×2 2秒毎/1分毎/連続	個別着信時に応答しなかった場合に鳴るベルの設定
F13 アンサーバック	OFF	ON/OFF	相手局に電波が届いているかを確認する機能の設定
F14 電池アラーム	レベル 08	レベル 00 ～ 15	ローバッテリーアラートの音量設定
F15 CH 音声キー	ON	ON/OFF	チャンネル音声案内の動作設定
F16 ACC 電源	ON	ON/OFF	オプションユニットの電源供給設定

セットモードの基本的な操作方法を右ページに記します。

各項目の具体的な操作方法は、54 ページ以降を参照してください。

補足

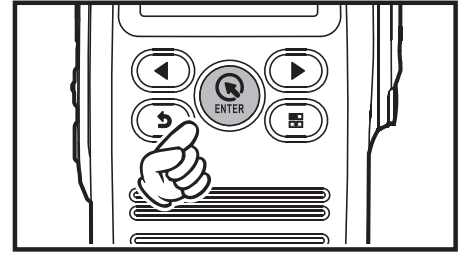
拡張機能（コールモード）の詳細は、42 ページ以降を参照してください。

注意

拡張機能にはセットモード / コールモード以外にサービスモードがあります。このサービスモードは、サービスマン専用のモードです。故意に設定すると無線機が使用できなくなることがあります。

- ① 一度電源を切り、を押しながら、電源を入れる。

拡張機能の選択画面が表示されます。






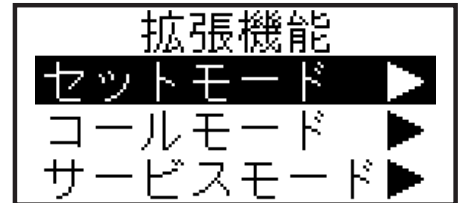
- ② ロータリースイッチをまわす。

“セットモード” を選択します。

- ③ を押す。



- パスワードの入力画面が表示された場合、セットモードの設定操作が禁止されていますので、お買い上げいただきました販売店にご相談ください。
- パスワードがわかっている場合は、下記の方法でパスワードを入力してください。
 1. ロータリースイッチで数字を選択します。
 2.  / で桁を移動させ、ロータリースイッチで数字を選択します。
 3. 入力が終わったらで決定します。
 4. 正しいパスワードが入力されると、セットモードの画面が表示されます。



- ④ ロータリースイッチをまわす。

設定したい項目を選択します。

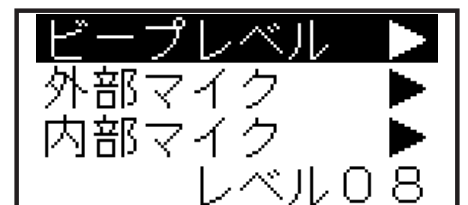
- ⑤ を押す。

- ⑥ ロータリースイッチをまわす。

設定値を変更します。



- ⑦ を押す。

その後電源を切ると設定は終了です。



F01 ビープレベル

ボタンやスイッチを押したときに鳴る確認音の、音量を設定することができます。

- ① 53 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにする。
- ② ロータリースイッチをまわす。
“ビープレベル” の表示にあわせませす。
- ③ を押す。
- ④ ロータリースイッチをまわす。
希望の音量を選択します。
設定できる音量レベルは“00”～“15”です。
- ⑤ を押す。
その後電源を切ると設定は終了です。





現在の音量レベル



音量レベル

F02 外部マイク

外部マイクロホンのマイク感度を設定することができます。

- ① 53 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにする。
 - ② ロータリースイッチをまわす。
“外部マイク” の表示にあわせませす。
 - ③ を押す。
 - ④ ロータリースイッチをまわす。
希望の感度を選択します。
マイク感度は、下記の8段階から選択することができます。
- (低) “-18” ↔ “-12” ↔ “-6” ↔ “-3” ↔ “0” ↔ “+3” ↔ “+6” ↔ “+10” (高)
- ⑤ を押す。
その後電源を切ると設定は終了です。



現在のマイク感度



マイク感度

F03 内部マイク

マイク感度を設定することができます。

① 53 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。

② ロータリースイッチをまわす。

“内部マイク” の表示にあわせます。

③  を押す。

④ ロータリースイッチをまわす。

希望の感度を選択します。

マイク感度は、下記の8段階から選択することができます。

(低) “-18” ↔ “-12” ↔ “-6” ↔ “-3” ↔ “0” ↔ “+3” ↔ “+6” ↔ “+10” (高)

⑤  を押す。

その後電源を切ると設定は終了です。



現在のマイク感度



マイク感度

F04 ロータリー

ロータリースイッチの動作を変更することができます。

① 53 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにする。

② ロータリースイッチをまわす。

“ロータリー” の表示にあわせます。

③  を押す。

④ ロータリースイッチをまわす。

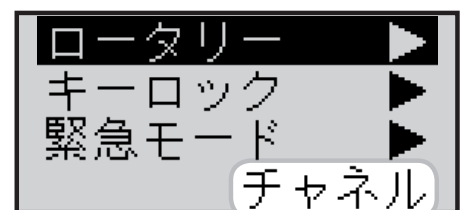
希望の動作を選択します。

“チャンネル”： ロータリースイッチをまわすと、運用チャンネルが変わります。

“ID”： ロータリースイッチをまわすと、呼び出し先 ID が変わります。

⑤  を押す。

その後電源を切ると設定は終了です。



現在の動作



動作

F05 キーロック

ロック機能を動作させたときの、ロックさせる条件を設定することができます。

① 53 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにする。

② ロータリースイッチをまわす。

“キーロック” の表示にあわせます。

③  を押す。

④ ロータリースイッチをまわす。

希望のロック範囲を選択します。

“前面”： 無線機前面（録音ボタンを含む）にあるボタンがロックされます。

“上部”： ロータリースイッチがロックされます。

“全て”： ロータリースイッチ、無線機前面にあるボタン、PTT スイッチがロックされます。

“前面+上部”： ロータリースイッチと無線機前面（録音ボタンを含む）にあるボタンがロックされます。

“PTT”： PTT スイッチがロックされます。

⑤  を押す。

その後電源を切ると設定は終了です。

補足

- 本機を“受信専用機”として使用する場合は、送信操作を禁止するために“PTT”に設定してください。
- ロックボタン、コールチャンネル / 緊急ボタンはロックされません。



現在の設定



設定

F06 緊急モード

緊急アラーム機能の動作を設定することができます。

① 53 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにする。

② ロータリースイッチをまわす。

“緊急モード” の表示にあわせませす。

③  を押す。

④ ロータリースイッチをまわす。

希望の動作を選択します。

“BP” : 無線機のスピーカーから、緊急アラームを鳴らします。

“T” : 自局のIDを含んだ緊急信号を送出します。また、緊急動作中にPTTボタン(送信ボタン)を押すと、相手局と通話することができます。

※この設定は、個別通信時のみ動作します。

“S” : サイレント状態で緊急信号を送信します。ディスプレイ表示とLEDは緊急動作中も変化しません。また、緊急動作中にPTTボタン(送信ボタン)を押すと、相手局と通話することができます。

※この設定は、個別通信時のみ動作します。

“BP+T” : 上記“T”の動作を行った後、“BP”の動作を行います。

※UC通信時では“BP”の動作になります。

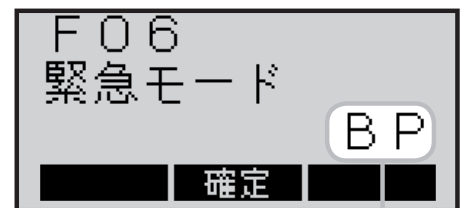
“OFF” : 緊急アラーム機能は動作しません。

⑤  を押す。

その後電源を切ると設定は終了です。



現在の動作



動作

F07 TX ビープ

送信開始時に、通話ができる状態になったことを知らせるために鳴るビープ音を、ON/OFF することができます。

① 53 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにする。

② ロータリースイッチをまわす。

“TX ビープ” の表示にあわせませす。

③  を押す。

④ ロータリースイッチをまわす。

TX ビープのオン / オフを選択します。

“ON” : TX ビープが動作し、通話ができる状態になるとビープ音が鳴ります。

“OFF” : TX ビープの動作がオフになります。

⑤  を押す。

その後電源を切ると設定は終了です。



現在の設定



設定

F08 RX ビープ

受信中の通話が終了したことを知らせるために鳴るビープ音を、ON/OFF することができます。

個別通信時または、“000” 以外の同じユーザーコードに設定してある相手局の信号を受信した時のみ動作します。

① 53 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにする。

② ロータリースイッチをまわす。

“RX ビープ” の表示にあわせませす。

③  を押す。

④ ロータリースイッチをまわす。

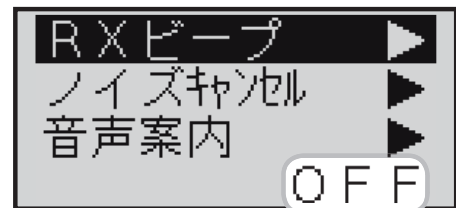
RX ビープの ON/OFF を選択します。

“ON” : RX ビープが動作し、通話ができる状態になるとビープ音が鳴ります。

“OFF” : RX ビープの動作がオフになります。

⑤  を押す。

その後電源を切ると設定は終了です。



現在の設定



設定

F09 ノイズキャンセル

周囲の騒音を抑えて、明瞭な音声を送信する「ノイズキャンセル機能」を ON/OFF することができます。

① 53 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにします。

② ロータリースイッチをまわす。

“ノイズキャンセル” の表示にあわせます。

③ を押す。

④ ロータリースイッチをまわす。

ノイズキャンセル機能の ON/OFF を選択します。

ON : ノイズキャンセル機能が動作します。

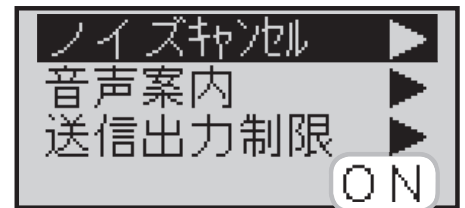
OFF : ノイズキャンセル機能が OFF になります。

補足

ノイズキャンセル機能を“ON”にする際は、“F02 外部マイク”および“F03 内部マイク”の設定を“0dB”以下にしてください。

⑤ を押す。

その後電源を切ると設定は終了です。



現在の設定



設定

F10 送信出力制限

送信出力（発射する電波の強さ）を“5W”と“1W”から選択することができます。距離の近い相手と交信するときは、送信出力を“1W”に、また、本機を受信専用機として使用する場合は“受信専用”に設定してください。

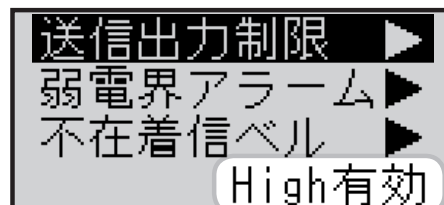
① 53 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにする。

② ロータリースイッチをまわす。

“送信出力制限”の表示にあわせて。

補足

現在の設定が表示されます。



現在の設定

③ を押す。

④ ロータリースイッチをまわす。

希望の設定を選択します。

“High 有効”：送信出力が 5W に設定されます。

“Low 固定”：送信出力が 1W に設定されます。

“受信専用”：PTT ボタンを押しても、送信しなくなります。



設定

⑤ を押す。

その後電源を切ると設定は終了です。

補足

ご購入時の設定で、周波数ごとの送信出力設定が“Low”に設定されている場合は、上記の設定を“High 有効”にしても、実際の送信出力は“Low 固定”（1W）となります。

F11 弱電界アラーム

受信している信号が、極端に弱くなったことを知らせるアラーム音を、ON/OFF することができます。

① 53 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにする。

② ロータリースイッチをまわす。

“弱電界アラーム” の表示にあわせませす。

補足

現在の設定が表示されます。

③  を押す。

④ ロータリースイッチをまわす。

弱電界アラームの ON/OFF を選択します。

“ON”：受信信号が極端に弱くなると、アラーム音が鳴ります。

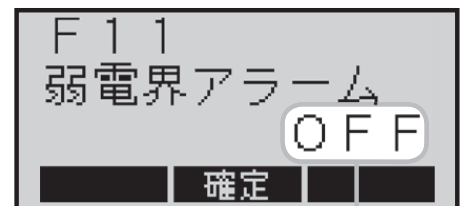
“OFF”：弱電界アラームの動作がオフになります。

⑤  を押す。

その後電源を切ると設定は終了です。



現在の設定



設定

F12 不在着信ベル

相手からの個別呼び出しを受けた後、応答しなかった場合、設定した条件でベル（電子音）を鳴らすことができます。

なお、“グループ呼び出し”や“一斉呼び出し”での着信の場合は、ベルは鳴りません。

① 53 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにする。

② ロータリースイッチをまわす。

“不在着信ベル”の表示にあわせませす。

③ を押す。

④ ロータリースイッチをまわす。

希望の設定を選択します。

“OFF”：不在着信ベルの動作がオフになります。

“5秒毎×2”：着信後、5秒間経過するとベルが鳴り、更に5秒間経過すると再度ベルが鳴ります。

“2秒毎”：着信後2秒毎にベルが鳴ります。

“1分毎”：着信後1分毎にベルが鳴ります。

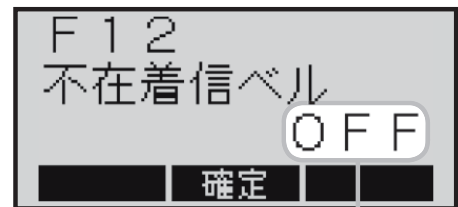
“連続”：着信するとベルが鳴り続けます。

⑤ を押す。

その後電源を切ると設定は終了です。



現在の設定



設定

F13 アンサーバック ～個別通信で使用する機能です～

アンサーバック機能を、ON/OFF することができます。

① 53 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにする。

② ロータリースイッチをまわす。

“アンサーバック”の表示にあわせませす。

③ を押す。

④ ロータリースイッチをまわす。

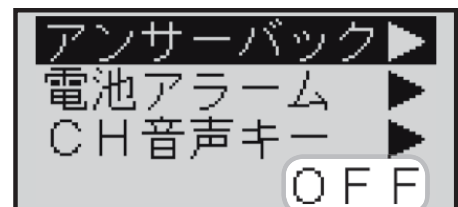
アンサーバックの ON/OFF を選択します。

“ON”：アンサーバック機能が動作します。

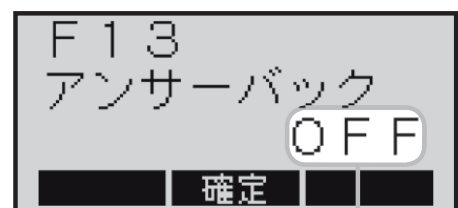
“OFF”：アンサーバックの動作がオフになります。

⑤ を押す。

その後電源を切ると設定は終了です。



現在の設定



設定

F14 電池アラーム

ローバッテリーアラートのアラーム音量を調整することができます。

① 53 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにする。

② ロータリースイッチをまわす。

“電池アラーム” の表示にあわせませす。

③  を押す。

④ ロータリースイッチをまわす。

希望の音量レベルを選択します。

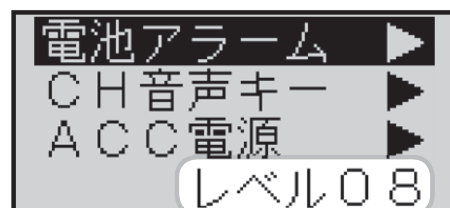
設定できるレベルは“00”～“15”です。

補足

数字が大きくなるほど音量レベルが上がります。

⑤  を押す。

その後電源を切ると設定は終了です。



現在のアラーム音量



アラーム音量

F15 CH 音声キー

 を約 2 秒以上押したときに動作する音声案内をON / OFFすることができます。

① 53 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにする。


② ロータリースイッチをまわす。

“CH 音声キー” の表示にあわせませす。

③  を押す。

④ ロータリースイッチをまわす。

音声案内のオン / オフを選択します。

“ON” :  を約 2 秒以上押したとき、現在のチャンネルを音声案内します。

例：- CH01- の場合は「いち」とアナウンスします。

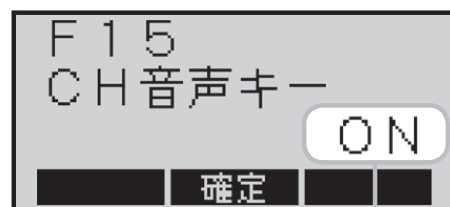
“OFF” : 音声案内の動作をオフします。

⑤  を押す。

その後電源を切ると設定は終了です。



現在の設定



設定

F16 ACC 電源

アクセサリを装着した際、アクセサリユニットへの電源供給を ON/OFF することができます。

① 53 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにする。

② ロータリースイッチをまわす。

“ACC 電源” の表示にあわせませす。

③  を押す。

④ ロータリースイッチをまわす。

電源供給の ON/OFF を選択します。

“ON” : アクセサリユニットに電源を供給します。

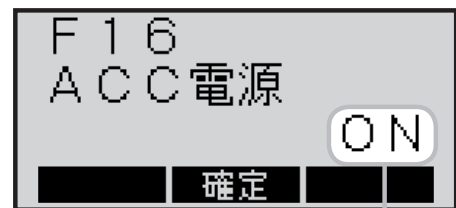
“OFF” : アクセサリユニットへの電源供給は行いません。

⑤  を押す。

その後電源を切ると設定は終了です。



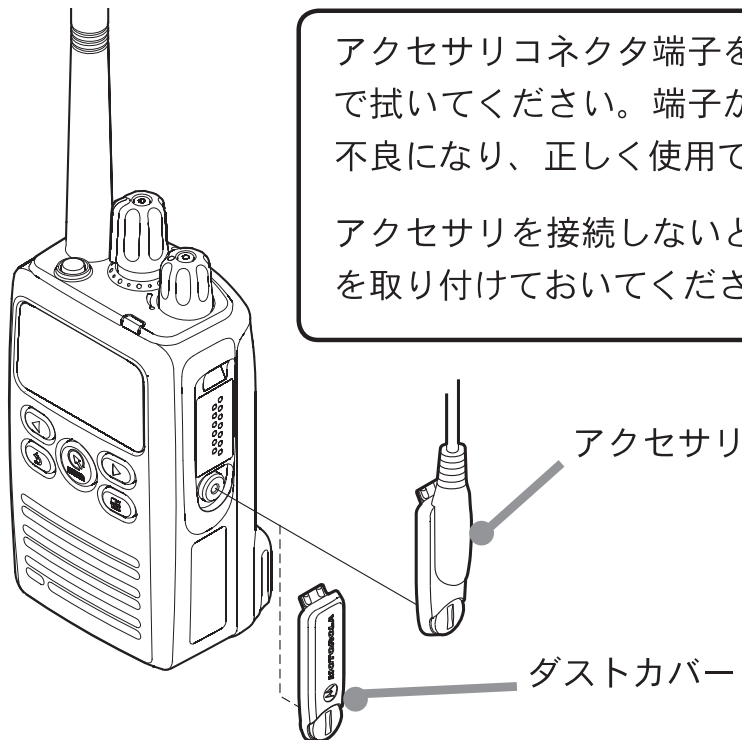
現在の設定



設定

アクセサリの取り付け

アクセサリコネクタ部分に取り付けられているダストカバーを外し、アクセサリを取り付けます。



アクセサリコネクタ端子を時々乾いた布や綿棒で拭いてください。端子が汚れていると、接触不良になり、正しく使用できなくなります。

アクセサリを接続しないときは、ダストカバーを取り付けておいてください。

外部マイクの感度切り替え方法

外部マイクを使用した際に、マイク感度を調節することができます。

① 53 ページの①～③の操作をおこない、セットモードにする。

② ロータリースイッチをまわす。

“外部マイク” を表示させます。

③  を押す。

④ ロータリースイッチをまわす。

希望の感度を選びます。

マイクの感度は、下記の8段階から選択することができます。

(低) “-18” ↔ “-12” ↔ “-6” ↔ “-3” ↔ “0” (標準) ↔ “+3” ↔ “+6” ↔ “+10” (高)

⑤  を押す。

⑥ 電源を切る。

設定は終了です。



マイク感度

故障かな？と思う前に

間違った操作をしていませんか？

修理を依頼される前にお確かめください。

◎ 電源が入らない!

- ・ リチウムイオン電池パックが消耗していませんか？
▶▶▶ リチウムイオン電池パックを充電してください。
- ・ リチウムイオン電池パックの端子が接触不良になっていませんか？
▶▶▶ 端子を乾いた布で拭いてください。
- ・ リチウムイオン電池パックが古くなっていませんか？
▶▶▶ リチウムイオン電池パックの寿命です。新しいリチウムイオン電池パックとお取り替えください。

◎ 送信できない!

- ・ PTT(通話) ボタンを正しく押していますか？
- ・ 送信出力の設定が “受信専用” になっていませんか？

◎ 通話できない!

- ・ 相手局と同じチャンネルに設定していますか？
- ・ 相手局との距離が離れすぎていませんか？
- ・ 相手局と同じ通信方式に設定していますか？
▶▶▶ 相手がアナログ簡易無線機の場合は交信することはできません。
▶▶▶ 無線局種別コードが “3 R” の簡易無線機であるか確認してください。
- ・ 相手局と同じユーザーコードに設定していますか？
- ・ 秘話通信機能が動作していませんか？
▶▶▶ お互いに秘話通信機能を動作させ、更に秘話コードが一致していないと、交信することはできません。

定 格

一 般

送 受 信 周 波 数	数	デジタル簡易無線登録局 (6.25kHz 間隔、30 波)		
		351.20000MHz ~ 351.38125MHz		
電 波 型 式	式	F1E/F1D		
通 信 方 式	式	単信 (プレストーク) 方式		
電 池 持 続 時 間	間	リチウムイオン電池	送信出力 5W	送信出力 1W
		MLB-001 (2,300mAh)	約 14 時間	約 18 時間
		MLB-002 (1,380mAh)	約 8 時間	約 11 時間
		(送信出力 5W 時、送信5、受信5、待ち受け 90 の繰り返し)		
電 源 電 圧	電 圧	DC 7.4V ± 10%		
消 費 電 流	電 流	DC 7.4V	送信時 (出力 5W 時)	約 1.6A
			受信待ち受け時	約 80mA
			受信定格出力時	約 350mA
温 湿 度 範 囲	範 囲	温度 - 20°C ~ + 60°C		
		湿度 95% (35°C)		
本 体 寸 法	寸 法	56mm × 96mm × 41mm (MLB-002 使用時)		
本 体 重 量	重 量	約 270g (MLB-002, ダストカバー, ダミーボードを含む)		

※ RoHS 指令対応

送信部

空中線電力：5W/1W(+20%、-50%以内)
空中線インピーダンス：50Ω 不平衡
発振方式：水晶発振制御による周波数シンセサイザ方式
周波数許容偏差：±1.5ppm以内
変調方式：4値FSK
占有周波数帯域幅：5.8kHz以下
最大周波数偏移：±1324Hz以内
隣接チャンネル漏洩電力：-52dB以下(5W時)
スプリアス発射：2.5μW以下
不要輻射：2.5μW以下
標準変調入力：-44dBm±5dB(1kHz 60%変調)
変調入力インピーダンス：600Ω

受信部

受信方式：ダブルコンバージョンスーパーヘテロダイン方式
中間周波数：第一 50.85MHz
第二 2.304MHz
局発振周波数：第一 受信周波数-50.85MHz
第二 48.546MHz
局発周波数変動：±1.5ppm以内
受信感度：-2dBμV(BER=1%)
スプリアスレスポンス：53dB以上(BER=1%)
隣接チャンネル選択度：6.25kHz 42dB以上(BER=1%)
相互変調特性：53dB以上(BER=1%)
スケルチ感度：-10dBμV以下
低周波出力：0.7W以上(10%歪時)
低周波出力インピーダンス：16Ω
副次的に発する電波等の強度：4nW以下

索引

欧字

A	
ACC 電源	64
ARIB 種別コード	12, 20
E	
ENTER ボタン	15, 32
L	
LED インジケータ	14, 16
P	
PTT ボタン	15
R	
RX ビープ	58
T	
TX ビープ	58
U	
UC	44
UC 通信	21
UC ベル	45

かな あ

アクセサリコネクタ端子 ..	15, 65
アンサーバック	38, 62
安全上のご注意	5
アンテナコネクタ	14
アンテナの取り付け	17

い

一斉呼び出し	25, 26
--------------	--------

お

音量調節ツマミ	14, 22, 26
---------------	------------

か

外部マイク	65
拡張機能	42, 52
各部の名前と機能	14
簡易リスト	35

き

キーロック	15, 31, 56
機能ボタン	15, 32
緊急個別 ID	49
緊急ボタン	14, 33
緊急モード	57

く

グループ ID	47
グループベル	48
グループ呼び出し	25, 26

こ

構成品	12
コールモード	42
故障かな?と思う前に	66
固定宛先	49
個別宛先	48
個別通信	25
個別ベル	47
個別呼び出し	26

し

自局 ID	46
自局情報	37
弱電界アラーム	61
充電方法	19

せ

設定リセット	34
セットモード	52
全員を一斉に呼び出す	25

そ

送受信メニュー	38
送信出力制限	60

た

ダミーボード	17
--------------	----

ち

着信履歴	39
------------	----

つ

通信について	21
通信方式	12, 44
通話保持時間	50

て

定格	67
ディスプレイ	15, 16
電源スイッチ	14
電池持続時間	18
電池の消耗	18

と

特定の相手だけを呼び出す ..	25
-----------------	----

な

内部マイク	15, 55
-------------	--------

の

ノイズキャンセリング孔	15
ノイズキャンセル	59

は

バックライトボタン	15, 31
発信履歴	39

ひ

ビープレベル	54
秘話 ID	51
秘話通信機能	24

ふ

不在着信ベル	62
--------------	----

へ

ベルトクリップ	17
---------------	----

ほ

ボイスチャンネル アナウンス	15, 32
防水性	11

ま

マイク感度	54, 55, 65
-------------	------------

む

無線機情報	37
-------------	----

め

メッセージ	40
-------------	----

も

戻るボタン	15, 34
-------------	--------

ゆ

ユーザーコード (UC)	21, 37, 44
--------------------	------------

よ

呼び出しを受けたとき	30
------------------	----

り

リターン	34
リチウムイオン電池 持続時間	18
リチウムイオン電池パック ..	15, 18
リチウムイオン電池パック のリサイクルについて	13
リピート再生	35
リセット	34

ろ

ロータリー	55
ロータリースイッチ	14, 31
録音ボタン	15, 31
録音メモ	36



モトローラ製品のお問い合わせ先 03-6365-7000
ホームページ..... <http://www.motorolasolutions.com/JP>

仕様は改良のため、予告なしに変更することがあります。

モトローラ、MOTOROLA、モトローラのロゴマーク及び®表示が付された商標は米国およびその他の国における Motorola, Inc. の登録商標です。文中に記載されている他社の製品名やサービス名等は、各社の商標または登録商標です。

本製品は「外国為替及び外国貿易管理法」（日本）及び「米国輸出管理規制」による規制を受けますので、当製品を輸出する場合は、同法に基づく手続きが必要です。

モトローラ・ソリューションズ株式会社

PCR 事業部 〒 106-0032 東京都港区六本木 1-8-7 アーク八木ヒルズ

© Copyright 2013 Motorola Solutions, Inc. All rights reserved.



E C 1 0 7 U 0 2 2

中国印刷